

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日更新

事務事業名		水道事業維持管理事業（施設）			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	水道課
	業務分野	59	水の安定供給		所属班	水道班
課長名		大塚 勝己		担当者名		荒巻 慧
内線		5242		地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度）		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	水道事業(旧簡易水道事業を含む)の基幹施設である配水池及び水源地の施設を適切に運転し維持管理することにより、水道水を安定的に供給する事業である。昭和37年度から近代水道を計画的に整備し、清浄にして豊富かつ低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境を改善するために事業を開始した。配水池施設及び水源地施設とも、長年の使用により老朽化が著しく、機器の故障や配線・計器類の劣化による不具合などが顕著に表れているため、計画的に整備・更新を行なっていくための事業である。
【業務の流れ】	配水池施設及び水源地施設の職員による維持と運転(動力費等支払を含む)、定期点検、適切な管理を行なう(職員直営+外部委託)。②配水池及び水源地等の施設故障及び不具合に対し、早急かつ適切な補修、修繕を行なう(契約、監督、検査等の事務)。③法令に基づき、水質(配水・取水原水)について、外部専門機関に委託し定期的に水質検査及び指標菌検査を実施する(契約事務、監督、成果納品検査事務)。また、各配水池ごとの残留塩素濃度等の毎日検査を行なう(検査員に依頼)。④水道事業に携わる職員の検便検査を実施する。⑤水道法の規定に基づく衛生上必要な措置のため、年間を通じて安定的に塩素剤を調達し、水源地施設において原水と混和し基準に適合した塩素殺菌効果を発揮させるための施設管理を行なう(委託契約、監視、保守)。
【主な予算費目】	款)1. 水道事業費用(項)1. 営業費用(目)1. 原水及び浄水費(委託料、手数料、修繕費、動力費、薬品費)

(1)事務事業の振り返り・計画

① 6年度事務事業の成果・実績

配水池施設及び原水(取水)施設の機能を保持し適切に運転できるよう維持管理を行なった(電気設備、機械設備ほか、各種補修対応等)。特に専門的な保守及び点検が必要な設備(電気計装、ポンプ等)について、5~6箇所の配水池施設等を選定し年間を通じて保守点検業務を依頼し実施した。その他「業務の流れ」のとおり。

② 7年度計画(次年度に計画している主要内容)

前年度実績のとおり、特に専門的な保守及び点検が必要な設備(電気計装、ポンプ等)について、施設等を選定し年間を通じて保守点検業務を実施する。有機フッ素化合物の継続的な監視を行う。

③ 予算の主な増減の理由

老朽化している設備・機器等の修繕費の増。

成果指標

ア 設備の事故等により断水した件数

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	件	1	0	3	0	3	3	3	3
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	132,766	155,642	189,641	185,609	223,081	262,418	308,690
	繰入金	千円							
(A) 事業費計	千円	132,766	155,642	189,641	185,609	223,081	262,418	308,690	363,122

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

上水道施設の適切な維持管理を行うことで、安定的な水の供給に取り組むことができる。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)